

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
CoCoLo		2025 年 1 月 24 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	グループ分けをし、スペースを有効活用している。	定員がいっぱいだと狭さを感じることもある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員配置数は適切であるか。	5		基準人員にプラスして職員を配置しております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	手を洗う、トイレに行く子など声掛けをし、混みあわないようにしている。ドアの開閉時をもつかうようにしている。	トイレ前に段差があるので、混みあうおそれやドアの開閉時に身体をぶつけるなどがある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	毎日の営業後の掃除、定期的なエアコンフィルターの掃除など行っております。空間と致しましては、活動内容や来所時の状態に応じて変えています。	消毒や掃除のチェックリストを作成するなどして行うようにする。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		アコーディオンカーテンなどで仕切りを作り、スペースを確保しております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	午前中など、利用者がいない時間を活用し、職員で話しあう機会をなるべく作っております。	時間が取れないときもあり、一部の職員としかできないときもある。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		全ての内容をファイルにまとめ、職員がいつでもみられるように整理しております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員間で話し合いも行っているようにしています。日々の記録などもこまめにとり、改善にも繋げております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		外部評価は行っておりませんので、一つの課題として取り組むことを検討していきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	個人で無料ZOOM研修など受講し、情報を共有している。資格取得の研修などには参加しています。	事業所内研修だけではなく、外部からの意見を聞ける研修に参加するなどして新しい情報を取り入れる。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	職員間での話し合いも行い作成しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1	児童発達支援管理責任者を中心に、保護者との面談や、子どもの様子を職員間でも共有し、作成しております。	十分なアセスメントを行っていないときもあるため、しっかりと分析をし作成を行う。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		児童発達支援管理責任者を中心に、保護者との面談や、子どもの様子を職員間でも共有し、作成しております。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		ツールを用いたものは十分に行っていない。フォーマルアセスメントに関しては、全員を確認できているわけではないので改善する。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		家族支援、地域支援、連携に関してはまだやれるところもあるので、これから進めていけるようにする。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員全員で行うようにしております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		日々試行錯誤し実行しております。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1		組み合わせで来ている児童もいれば、来ていない児童もいてバラつきもある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝の営業前などに職員間で話し合いをしています。役割分担や時間を決めて声掛けなども行い支援を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	終了後に打ち合わせが行えなかった場合翌日の朝に打ち合わせを行ったり記録をみるようにしています。	終了後に一部の職員とは行えているが全職員と必ず行っているわけではないので、時間を作り行えるように努める。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		記録用紙などを用意し、記入すること、職員がいつでも見れるように保管しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1		定例のものは行っているが、必要に応じては行っていない部分がある。話し合いもして見直しをする必要がある。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		現場で担当している職員が参画しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3		出来てはいるが、もっと増やしたい。もっと増やせるように体制や連携を整えるよう改善する。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	2	送迎時や電話を使い情報交換しています。必要であれば学校にも訪問させて頂き、授業風景や給食中などに訪問もさせて頂いています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3		全員できているわけではない。必要に応じて連携をとり、情報共有していくよう努めて参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		現段階ではセンターとの連携や助言を受ける機会を設けていないが、連携を図っていく必要性もあるので今後取り入れるよう検討する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		イベントとして、大きな公園やお出かけ、図書館などに行くことはあるが、交流という名目では行っていないので交流の場を検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		日々の連絡帳や送迎時に情報共有し、共通理解を持つようにしております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	親子参加型イベントなどを開催し、普段の様子をみてもらうような機会を設けています。	家族が参加できる研修は行っていないので、今後機会を設けられるような取り組みも必要である。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に伝えております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		必ず同意を得ております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		連絡帳などを使い、相談等に応じております。定期的な面談の他に、必要に応じて対面でお話しする機会を設けております。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	会などは開催しておりませんが、親子参加型イベントなどで交流する機会を設けております。	保護者交流という名目で行えていないので、今後必要に応じて家族、きょうだい同士での交流も開催していくことも検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		相談や申し入れがあった場合は職員間で情報を共有し対応しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		連絡帳や事業所専用LINEなど使い、情報を発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報などは全て鍵付きのロッカーに保管しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。		5		地域住民の招待などは行っておりません。今後の課題だとも感じ、開催する予定でもあるので計画していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルを作成しており、訓練も行っております。その様子をブログなどでUPしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		見学や契約時に保護者様とのヒヤリングや、こちらで用意した用紙に記載して頂くようにしております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		アレルギーなども初期の段階で保護者様からお話を聞き、職員で周知徹底をしております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		職員で研修、訓練を行い支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		記録用紙などを用いて残すようにすると、職員間でも再発防止に向け話しをしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		職員で研修会を開いております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1		説明はさせて頂いておりますが、支援計画書に記載はないので、身体拘束を行うかもしれない場合は記載する。